

科目名	中国史概説（遠隔授業）	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	區 建英		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-330005	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体的問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	<p>（全回オンライン授業を行う）</p> <p>最古かつ最も富裕な王朝と認知されていた中国は、どのように近代で列強諸国に侵略される対象に転落し、そして100年以上の戦いを経て独立を獲得したのか。過去の歴史過程に発生した多くの重大な事件は、現代中国を知るのに不可欠な知識である。この講義は伝統中国から近代国家への転換、具体的にあへん戦争から中華人民共和国成立までの過程、とくにその過程における日本と中国の関係を説明する。これによって、中国における思想と制度、社会関係、対外関係、経済発展等のあり方の根本的転換を理解するための基本知識と方法を提供する。</p> <p>授業は下記の計画で進めるが、授業の状況によって若干変更する場合がある。</p> <p>なお、今はコロナウィルス感染がまだ収まっておらず、担当教員としての私は大病に罹って免疫力が低下しているので、お互いの安全安心のために、今学期の15回授業を全部オンラインで実施します。ご理解ご協力ください。</p>				
学修到達目標	<p>あへん戦争から中華人民共和国成立までの過程を知り、これによって、伝統中国から近代国家への転換、とくに日中関係に重大な影響を与えた歴史的要素を把握することができる。また、現代中国を学ぶ予備知識が備わる。</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	歴史に対する理解の心構えと中国の文化的背景
第2回	伝統中国の複合政治構造と東アジア
第3回	あへん戦争と国際秩序観

第4回	清末外交における二つの秩序観の摩擦
第5回	中国の社会変動-太平天国と洋務運動
第6回	清末の日中関係-琉球・朝鮮をめぐる
第7回	清末の日中関係-日清戦争
第8回	戊戌変法と義和団運動
第9回	辛亥革命と中華民国
第10回	中華民国初期と日本の対華21カ条要求
第11回	五四運動と国民革命
第12回	日本のアジア主義に対する中国人の改造
第13回	国民革命と日本の侵略

第14回	日中戦争と抗戦
第15回	国家の独立と統一の問題
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。各回の講義内容に関連する図書資料を自主的に調べて予習する。
【復習】時間・内容	2時間。授業で配布された資料をよく読んで復習する。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験の点数（70%）、毎回の授業に提出するコメント（感想、質問等）（20%）、授業参加状況（10%）を合わせて総合的に評価する。
フィードバック方法	学生諸君の毎度のコメントに対し、授業で回答や評論をする。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	ディスカッション、ディベート
教科書/参考書	手作りの授業資料を配布する。 必要な参考書は授業時に知らせる
受講上の留意点等	講義のメモを取りながらよく思考し、コメントを書くこと。関係図書を調べ、レジュメを復習すること。
JABEE	